

令和6年11月1日

三田市長

田村 克也 様

三田市議会 市民とともに

肥後 淳三

橋本 維文

山崎 丈

大西 憲治

令和7年度（2025年度）三田市予算編成及び政策に関する要望書

田村市長におかれましては、財政構造改善に取り組む中、「こどもを核としたまちづくり」の具現化に向け精力的な予算編成に取り組まれていると存じます。

また、令和6年度から取り組まれている公民連携の取組みについては、「先進都市」として標榜できるか否かの岐路となる年度にもなることから、担当部署だけではなく、行政組織を横断する職員の協力・連携が不可欠になると考えています。

さて、三田市の人口増加率10年連続1位は、既に過去のものとなり、今や急激な人口減少・少子高齢社会をむかえる中、急激な人口減少を緩和する施策が急務となっており、市長を始めとする職員、市議会議員が一丸となって、市の山積する課題に取り組んでいく必要があります。

本会派では、「都市間競争に打ち勝つ独自性」をキーワードに市民に寄り添い、「市民だれもが安全で安心な社会の実現」を心から願い、三田の魅力を活かした政策を実行に移していただきたく、予算や政策項目を取りまとめました。

田村市長には、2度目の当初予算編成となりますが、市民への確実な情報公開と丁寧な市民説明を原則においていただき、「健全で安定した市財政」そして「市民の笑顔が輝く三田」となることを願い、ここに令和7年度の予算編成を要望いたします。

以 上

令和 7 年度
三田市予算編成及び政策に関する
要望書

令和6年11月1日

会派 市民とともに

子育て・教育

田村市長が掲げる「こどもを核としたまちづくり」を実現させるためにも、地域、学校、行政が一体となって協力していき、真に子どもたちを思った政策、出産・子育てがしやすい街づくり、子どもたちが安心・安全に教育を受けられる環境づくりのための政策を実現させる予算編成を要望いたします。

1. 陣痛時にいつでも安心して使用できる陣痛タクシーの導入を図り、三田市民が安心して出産に臨める環境を実現させること。また、導入に際しては福祉タクシーなどとの連携を検討すること。
2. 保育士の配置基準の改定に伴う対応を確実に行うこと、また細切れのシフトを改め、正規職員での対応をすすめ、安心・安全な保育環境を整えること。
3. 子どもサポーター、指導補助員、生活指導員の増員、配置を通して、全ての子どもが安心して学べる環境、また、放課後児童クラブにおいて、受け入れ要件/時間の緩和など、仕事と子育てが両立できる環境を構築すること。必要な要員に関しては、地域とも協力し、学校と地域が一体となった教育環境づくりを実現させること。
4. 給食センターの直営を堅持し、地産地消の三田市の給食を推進しつつ、給食の無償提供を進めていくこと。また、安心安全な給食提供のために、オーガニック食材の使用を進めること。
5. 各学校の設備導入（音楽室や体育館のエアコン配置、トイレの整備）や、設備改修に関して、優先順序を明確にし、確実に実施していくこと。
6. 中学校部活動の地域移行に関して、地域、学校、行政が一体となり、負担を押し付けあうのではなく、希望する全ての子どもたちが安心して、運動や文化活動に取り組める環境を構築すること。
7. 教職員を守るために、カスタマーハラスメント対策として、市役所でも導入された録音機能付きの電話機を学校にも導入すること。
8. 日本語教室「SKIP」に参加する児童の交通費を支給し、子ども達が参加しやすい環境を整えること。

医療福祉

新三田市民病院の開設、現市民病院の跡地利用、かかりつけ医の確保など、将来の三田市の地域包括医療のビジョンをしっかりと描き、市民が安心して暮らせる環境づくりのための予算編成を要望いたします。

1. 令和10年(2028年)度途中の新市民病院開設に向け、三田市、神戸市及び北摂・丹波地域の医療連携と福祉連携ビジョン、また、現市民病院の跡地利用、かかりつけ医の確保など、地域包括医療のビジョンを描きなおし、将来にわたる医療/福祉環境構築を進めること。

2. 令和10年(2028年)度の新市民病院の開設に向け、アクセスの充実を図るために新たな交通計画の策定をすること。

3. 公立病院は、一定数のコロナ感染者用ベッドを確保する必要があるが、このために医業収益が減ることに関して、県、国に減収分の補填等の要望を強く要求すること。

4. 市民病院の跡地活用については、医療、福祉、子育てが融合するような、新たなウツディタウンの玄関口にふさわしい用途に変更し、三田市の魅力アップを図ること。また、三田型の医療・介護連携拠点機能を構築すること。

5. 子どもの入院時に、付き添人にも有償での食事提供、保育士の配置による付き添い人の負担軽減を図ること。

6. 新市民病院の開設に向けて、資材や人件費の増加に伴う、費用の増大や、開設時期の延期などが発生した場合は、市民への情報発信や説明を確実に実施し、進めていくこと。

7. 社会福祉従事者(介護労働者、障がい福祉サービス従事者、保育士等)をはじめ、医療従事者、幼稚園教諭、保育教諭、放課後児童支援員等の処遇および勤務環境の改善をはかり、職場定着のための支援強化や潜在従事者の復職支援を積極的におこない、人員体制を確保すること。

公共施設・経営管理

市民が安心して使用できる公共施設の維持管理を実施し、これからの三田市にとっての優先度を検討し、計画性をもった公共施設マネジメントを履行すること。また経営面からも継続性のある収益構造を構築し、持続性のある公共施設のための予算編成を要望いたします。

1. スポーツ施設のテニスコートの管理を含め、スポーツを楽しむ市民が怪我をしない施設の維持管理に努めること。そのためには、令和7年(2025年)度に見直しが行われる使用料について、適正な維持管理の観点から、市民に理解を得て使用料を検討すること。
2. 公共施設のダウンサイジングなどの見直しを図る際には、公民連携で一定の収益施設の導入なども検討し、市の収入確保も視野に検討すること。
3. 子どもたちを含めた様々な利用者が有効に公園を利用できるよう、設置場所や広さを考慮し、地域と合意形成を図りながら、個々の公園で遊べる内容を細かく設定し明示すること。
4. 子どもたちが一人でも練習できるよう、スポーツ公園、大規模公園や学校などにスポーツウォールの導入をすすめること。
5. 三田市に不足している、大会開催が可能な400メートルトラック及びサッカー・ラグビーなどに使用できるグラウンドの整備を進めること。

農業・商工観光

食料自給率の向上や、農業の担い手不足対策のため、将来にわたり継続性があり、若者にとっても魅力のある農業環境を構築する。また、オーガニック農業や有害鳥獣の活用など、将来の三田市の産業/観光につながるような予算編成を要望いたします。

1. 市内の農業支援にニュータウンなどの市民を結びつける事業を展開し、市内農業の生産性の向上を図ること。
2. 阪神間各市との差別化を図るために、オーガニック農業の推進を行い、学校給食への提供を通して、子育て世代に三田に移住してもらう要素を築くこと。
3. 新規就農者の拡大を図るために、三田市独自の農作物の研究に取り組むこと。
4. 農業者の獣害対策としてジビエの活用を見出し、三田の新たな産業へ転換を図ること。
5. 三田のシンボルである雉を活かし、三田市の名物(雉料理)として活用を図ること。
6. 川本幸民発祥のビールを地ビールとして市内で生産できる体制づくり(ホップ・大麦栽培)を行い、三田の観光政策に結びつけること。

公共交通

特に高齢化が進んでいる地域において、市民の足となる交通環境を構築する。また、公共交通だけに頼らない地域と一体となった交通網を実現させるための予算編成を要望いたします。

1. 地域内の交通(むこぐるぐる、あいあいバス、あいのり、お互いさま之助)の活用を拡大し、市内中心部への直結など、利便性の向上を図ること。
2. 自動運転バスなどの新しい交通方法の実証結果をしっかりと検証し、将来の三田市の交通網のビジョンを描くこと。
3. 道路の草刈りに関しては、子どもの通学路や交差点などの見通しが悪い場所を優先し、実施すること。また、優先度のデータベースを作成し、マネジメントすること。

地域再生

オールドニュータウン(フラワータウン、つつじが丘など)の再生に確実に取り組み、JR/私鉄の各駅を中心とした賑わいを創出する予算編成を要望いたします。

1. フラワータウン再生ビジョンに確実に取り組むこと。
2. つつじが丘や友が丘などの高齢化が進んでいる住宅地の再生に確実に取り組むこと。
3. JR/私鉄周辺を中心とした賑わいの創出に確実に取り組むこと。

産業育成

働き手確保のために、三田市内の産業育成、また三田市内で学ぶ若者が三田市内で働きたいと思えるよう、若者と産業/企業を結び付ける予算編成を要望いたします。

1. 新たな働き手確保のために第3テクノパークの開発を促進させること。
2. 三田市の魅力(トカイナカ、災害に強い街)を売り出し、新たな若者が働きたいと思えるようなクリエイティブ系企業の誘致を進めること。
3. 三田で学ぶ学生と企業を結び付けるような活動を推進すること。

防災

南海トラフ地震や線形降水帯などによる想定外の大規模災害が懸念されている中、広い三田市の各地域に適した防災/減災を検討し、市民の安心・安全・命を守る予算編成を要望いたします。

1. 家具転倒防止機材の購入費用の補助を検討すること。また、各家庭に適した転倒防止方法を図るため、アドバイザーの派遣などを進めること。
2. 災害に強い街のアピールにもつなげるため、大規模災害の際に、阪神地区の他の市町からの避難先として三田市に仮設住宅の建設を含めた場所を準備し、他市町と災害発生時の提携を進めること。
3. 三田市内の各地域に対して必要な防災措置を講じること。携帯不通地域には看板掲示などの注意喚起や、倒壊木の危険がある場所は伐採など行うこと。

人権・共生

全ての人が差別や偏見を受けることなく、自分らしく生きることができる共生社会を実現すること。そのために、人権について学ぶ機会、相互理解を深める機会を創出する予算編成を要望いたします。

1. 差別や偏見、人権について学ぶ機会や様々な立場の人がお互いを知る機会を創出し、人権学習、相互理解を深め、あらゆる差別をなくす社会の醸成を目指すこと。

行財政

健全な三田市の予算を堅持し、働き方改革、DX化を推進し、市職員が働きやすく、また市民の利便性を向上させる予算編成を要望いたします。

1. DX化の推進、また各種処理のオンラインでの申請を推進し、市職員は働きやすく、市民の利便性が向上する環境を構築すること。また、内容によっては民間企業の協力など、様々な意見を取り入れて進めていくこと。